

創立 88 年 広島国際学院 報

建学の精神
教育は愛なり

第 97 号
平成 27 年 5 月 1 日発行

特集

地域連携

ふるさとを元気にする大学の取り組み

情報デザイン学科 第 8 回卒業研究・卒業制作選抜展 展示風景

目次

特集 地域連携	1・2
校長・学部長就任挨拶	3
新任職員紹介	4
着実な努力で開ける展望 工学部	5
学業の集大成、一堂に 情報文化学部	6
友との交流が飛躍のバネに 総合教育センター	7
たゆまぬ努力で視界鮮やか 短期大学部	8
高校から発信	9・10
本学院学生・生徒の活躍	11
卒業式・入学式	12
進路状況	13・14
短大「ベンチマーキング活動」に初参加	15
今後の主な行事予定	15

高校から発信

たゆまぬ努力で視界鮮やか

短期大学部

友との交流が飛躍のバネに

総合教育センター

学業の集大成、一堂に

情報文化学部

着実な努力で開ける展望

工学部

特集 地域連携
ふるさとを元気にする大学の取り組み

地域連携

ふるさとを元気にする大学の取り組み

本研究室（環境科学）では、身近な環境をテーマとして、瀬野川の水環境について調べています。瀬野川は、東広島市の八本松を源流とし、瀬野、中野、海田と、主に広島市安芸区を流れる市民にも馴染み深い川です。この瀬野川の上流から下流までの水質変化と水生生物調査、さらに他の河川との水質の比較など、これまで中野公民館と共同で瀬野川についての環境調査を行ってきました。調査によると、近年の高い下水道の普及率から、以前より水質は改善されてい

る結果でした。一方、水生生物は、水草など自然の環境が保たれている

ため、小型の川エビから大型の魚類まで豊かな生態系を保っていることが分かりました。

「本大学は安芸区と地域連携協定を締結していることもあり、今後も調査を継続したい」竹野教授は今年も瀬野川に注目しています。



研究室の学生と水質調査



蓮華寺山の尾根で見られたマツ枯れ残存木

瀬野川流域については、1984年頃に植生調査を行ったことがあります。右岸側の高城山、蓮華寺山と続く山塊は全体が花崗岩地域で、その大部分はアカマツ林でした。左岸側の鉾取山、原山、天狗防山、洞所山と連なる山塊

は中腹から上は流紋岩地域であり、当時から落葉広葉樹林やスギ・ヒノキの人工林が大部分を占めていました。下部の花崗岩地域では大部分がアカマツ林でした。

1990年頃からこの地域はマツ枯れに襲われ、現在は視認状況としては、アカマツは所々にわずかに残存するだけの状態になっています。今回、蓮華寺山の尾根について植生調査を行いました。以前はアカマツ林であった所が、アベマキ林やコナラ林に変わっていることが明らかになりました。

生産工学科ではハイテク・リサーチ・センターを活用して工業材料の開発と評価に関する教育・研究を行っています。また、機械、金属、自動車分野を特徴とする地域企業との連携の一環で技術指導や共同研究に力を入れています。昨年度から、金型鋳鉄製造の友鉄工業株式会社（広島市安佐北区）との共同研究が開始されました。自動車軽量化の要求から高強度鋼板のプレス成形が増大していることから、同社はプレス金型の耐久性を改善できる高品質鋳鉄の開発を進

めており、昨年度から中小企業庁「ものづくり補助金」で鋳鉄表面硬化の研究が本格化したところです。本学は実験データの解析や考察を担当し、自動車用プレス金型の窒化処理の普及に向けて貢献しています。



自動車用プレス金型（友鉄工業（株）パンフレットより）



電験3種特別講習会で参加者に講義する松尾教授

電気関係に数多い資格の中でも国家資格「第三種電気主任技術者」は電圧 50,000V 未満、容量

5,000kW 未満の電気機器管理・監督の仕事に携わることが出来ます。非常に人気がある反面、取得が難しい資格の一つでもあります。

平成 20 年より毎年「電験 3 種特別講習会」を開催しています。平成 27 年度は広島市が管理運営する施設「サテライトキャンパスひろしま」（広島市紙屋町）で 4 月から 7 月末まで、13 回の講習を行っています。講義時間は毎週火曜日夜 18:20～19:50 です。

毎年数名の合格者を輩出し、メールや来訪で喜びを伝えてくれる方もいます。興味のある方、是非ご参加ください。一緒に勉強しましょう。

岩 国市由宇地域は山口県東部に位置し、瀬戸内海に臨む温暖な地域です。しかし、近年の高齢化の進展に伴い一人暮らし高齢者が増加。耕作放棄地の増大が問題視される等、地域の活力が急速に衰えてきています。そこで、地元の名産品である「由宇とまと」の6次産業化を通じて、地域経済が循環できる仕組みを作り、新たな雇用を生み出すことで地域の活力を高めるべく、神東地域振興協議会と本大学との協同プロジェクト「となりのトマト・由宇」が発足しました。初年度は、地元や隣接する広

島の市場におけるトマトの現状を分析し、「由宇とまと」のブランド化に向けての検証を行いました。次年度以降、商品開発等具体的な活動を協議していく計画です。



山口県立大学で開催された「大学生等による地域づくり支援活動情報交換会」で「由宇とまとのブランド化」プロジェクト活動について報告

現代社会

H KG キャラクタープロジェクトは、コンテンツ文化と地域振興の連携を学生の教育活動につなげる実践的な試みです。2012年に結成し、2013



HKG キャラクタープロジェクト

年から特別教育プログラムとして活動を続けています。今日、アニメーションやマンガ、ゲーム、キャラク

ター等のコンテンツはすっかりと若い世代の日常生活に浸透しました。それらは、単なる娯楽にとどまらず、産業や観光、地域文化振興のキーワードにもなっています。こうした社会的文脈に対応するために、学生達は、オリジナルキャラクターや各種グッズの制作、イベントへの出展などを行っています。最近、県や市区等からの依頼も増えています。こうした活動を通じ、学生達は技術の向上を実感し、また、ふだんの授業へのモチベーションも高めています。

情報デザイン

安 芸区役所市民部地域起し推進課との連携により、2014年度は以下のデザインが完成しました。「安芸区矢野イメージキャラクターデザイン」はコンペティション1位と2位の合体に挑戦、親しみを感じられる着ぐるみとして完成させました。また「安芸地区魅力資源マップ」は、タイトな時間配分の中で現地取材を行い、体感した地域の素晴らしさをマップとして表現しました。さらに「安芸区瀬野川流域活性化 Web」はクイズやイベントの情報発信を行いました。

農林建設部農林課との連携では、「阿戸町まるご

と市の売り場プロデュース」と、2年がかりでデザインした「こんにゃくラベルのデザイン」が実現しました。これらのデザインが好評を博し、



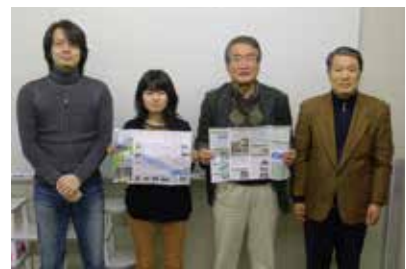
2年がかりで完成した阿戸町のこんにゃくラベル

新たな依頼にも繋がっています。学生はデザインを通して地域社会と交流し貢献することで学び、成長しています。

総合教育センター

総 合教育センターでは、入学生のみなさんに大学の前を流れる瀬野川に愛着を持ってもらうための「せのがわ学」と名付けた授業をしています。講師は地元の方々と、歴史や文化を話してもらいます。安芸区役所の「瀬野川を活かそうプロジェクト」にも参加しています。歴史ガイドボランティア団体「西国街道・海田市ガイドの会」の活動にも参加しています。その一つとして、先日、情報デザイン学科3年生の木下桃花さん（広島国際学院高校出身）がパンフレットを制作しました。海田町出身の木下さんは「せのが

わ学」で地元の歴史に興味を持ち、パンフレット制作に意欲的に取り組んでいました。完成したパンフレット「西国街道・海田市めぐり」を手にする木下さん（左から2人目）方も「完璧です！」と非常に満足されていました。



完成したパンフレット「西国街道・海田市めぐり」を手にする木下さん（左から2人目）

就任挨拶

高等学校校長就任にあたり

森崎恒夫

このたび創立 88 年の伝統を誇る広島国際学院高等学校の第 12 代校長を拝命し、その重責を担うこととなりました。本校に勤務して 35 年が経過しようとしていますが、この間に校名変更や数々の制度改革を経て一歩ずつ確実に評価される学校へと変わってまいりました。これも歴代の校長先生を始め、諸先輩の先生方のご努力の賜であると深く感謝申し上げます。現在の広島国際学院高等学校の勢いを絶やすことなく、さらなる発展に努力していく所存でございます。昨今の社会状況の変化は、教育を取り巻く環境にも大きな影響を与えています。時代が変わっても変えてはいけない「不易」の部分は堅持しながら、建学の精神「教育は愛なり」を教育の根底に据え、社会情勢に柔軟に対応した教育改革を進めてまいりたいと思います。皆様方のご協力とご指導を宜しくお願い申し上げます。



本大学工学部は、平成 25 年度改組により、食農バイオ・リサイクル学科と生産工学科の 2 学科体制となり、基礎学力からきめ細かい丁寧な教育をした上で、幅広い専門知識で多様化する工業に対応できる実践型技術者を養成しています。最近の国内の経済情勢から工業・技術が見直されつつある状況において、学年進行 3 年目に入り、これまでの教育研究の成果や学生の活性度など本工学部の魅力を如何に有効に外部発信するか工夫が必要と考えています。一方で、2 学科の教育課程やその実施方法などを真摯に見直し、教育効果のさらなる向上につながる改革を検討することも忘れてはならないことであり、直ちに実施できる項目は今年度から着手すべきと考えます。このような大事な時期に、工学部長を拝命しました。工学部、ひいては本学全体の大きな発展を目指したいと決意しています。本学関係者の皆様、さらなるご理解とご協力をよろしく願いいたします。

工学部長就任にあたって

李木経孝

あたって

情報文化学部長就任に

伏見清香

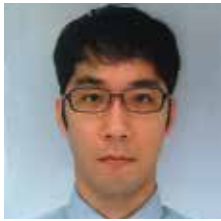
このたび情報文化学部長を拝命いたしました。IT コミュニケーションについて学び、情報を社会に発信する情報デザイン学科と、社会の諸問題をみつけ、分析・解決へと導く現代社会学科は、共に中国地方では唯一の個性豊かな学科です。それらの学科からなる本学部は、両学科の長所を活かした連携により、地域社会に貢献でき、視野を広く持った個性豊かな人材の育成を目指しています。

本学部が誕生して二年が経過し、前学部長をはじめ先生方のご尽力により、両学科の連携による学生を中心としたプロジェクトの成果が実りつつあります。今後はさらに、学生がより成長できたと感じられるようなプロセスと成果を目指した新たな展開に向け、努力して参ります。

より魅力的で活気に満ちた情報文化学部の発展、グローバルな視点で積極的にものごとに取り組むことのできる学生の育成を目標として、微力を尽くす所存ですので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



ささき けい 佐々木慧 食農バイオ・リサイクル学科講師



今年度から大学の教員として、主にバイオや農業関係の授業を担当します。一生懸命頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

本学の高校の出身ですので、高校の方とも仲良くさせていただければと思います。

おがわ たくじ 岡川卓詩 情報デザイン学科講師



昨年度の9月より講師として着任いたしました。専門はメディアアートになります。今まで培った知識や経験、技術を本大学のために活かしていきたいと思ひます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

はまくち まさひこ 濱口真彦 高校教諭 (国語)



このたび高等学校教諭として勤務させていただくことになりました。国語科の教員として「言葉」を大切にしたいと思ひます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

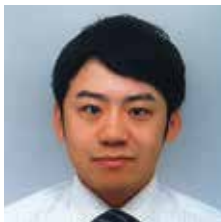
このたび高等学校教諭として勤務させていただくことになりました。国語科の教員として「言葉」を大切にしたいと思ひます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

おかだ よしあき 岡田賢明 高校教諭 (地理公民)



今年度より、本高校で教諭として勤務させていただくことになりました。「教育は愛なり」の下、生徒に学ぶことの大切さや楽しさを伝えられるように精一杯努めていきたいと思ひます。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

なかだ りゅうた 中田隆太 高校教諭 (理科)



今年度より、高校の教諭として働くことになりました。学生一人ひとりの進路実現に向けて、全力で取り組んでいこうと考えています。先輩方を見習って少しでもテキパキと仕事ができるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

今年度より、高校の教諭として働くことになりました。学生一人ひとりの進路実現に向けて、全力で取り組んでいこうと考えています。先輩方を見習って少しでもテキパキと仕事ができるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

にしむら かずや 西村一也 学生支援課 学生担当課長



皆さん、こんにちは。この度、本大学事務部の学生支援課学生担当でお世話になることになりました。学生の皆さんが、充実したキャンパスライフを送れるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

ひらい ともひさ 平井智久 学生支援課 学生担当職員



今年度より大学事務部に勤務させていただくことになりました。事務部学生支援課として学生が有意義に学校生活を送れるようにサポートしていければと思います。よろしくお願いいたします。

今年度より大学事務部に勤務させていただくことになりました。事務部学生支援課として学生が有意義に学校生活を送れるようにサポートしていければと思います。よろしくお願いいたします。

ふじもと おさむ 藤本修 短大庶務担当課長



今年度より、自動車短大の庶務担当職員として、勤務させていただくことになりました。学生の皆様が自短で学んで良かったと思えるよう、先生方と協力しながら頑張っていきたいと思ひます。皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

今年度より、自動車短大の庶務担当職員として、勤務させていただくことになりました。学生の皆様が自短で学んで良かったと思えるよう、先生方と協力しながら頑張っていきたいと思ひます。皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

現れ始めた教育成果・難関資格にダブル合格

—食農バイオ・リサイクル学科—



二つの難関試験合格に喜ぶ藤仙さん

食農バイオ・リサイクル学科は、定められた単位の修得で理科教員免許（中・高）と食品衛生管理者の国家資格が取得可能な学科ですが、本学科の授業を受講することで、危険物取扱者、バイオ技術者、環境社会検定（eco 検定）など、化学系および環境、バイオ系資格試験の合格を目指しています。

昨年度の食農バイオ・リサイクル学科では、危険物

取扱者、バイオ技術者上級および中級など種々の資格試験に挑戦し合格者を出しております。中でも現在4年生の藤仙克信さん（広島国際学院高校出身）は、バイオ技術者上級と水質関係第一種公害防止管理者の難関試験にダブル合格しました。特に公害防止管理者国家試験は、国立大学の学生でも合格が難しい試験です。本試験合格により、就職希望だった進路を大学院進学へと変更し、更なる高みを目指しています。

食品工学実習室に食中毒の検査機器を導入



食品工学実習室の全景

食品製造、農業・バイオ系企業、理科教員、技術系公務員など、技術者育成を目指す食農バイオ・リサイクル学科の食品工学実習室に、この度、食中毒の細菌検査機器が導入されました。本検査器は、微生物の増殖に伴って変化する酸素の量を測定し、培地の種類を変えることで「一般生菌数」「大腸菌群数」「黄色ブドウ球菌」「サルモネラ菌」の測定ができます。

バイオの発酵技術および食品加工技術によって、農産物からより付加価値の高い食品を開発することを目的に食品工学実習室は設置されました。この検査機器導入により、従来の食品加工実習はもちろん、食中毒の細菌検査など食品衛生に関する実習と研究が可能となりました。ぜひ、見学にお越しください。

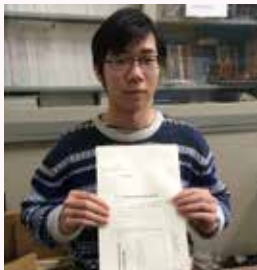


食品微生物迅速検査器

PICK UP!

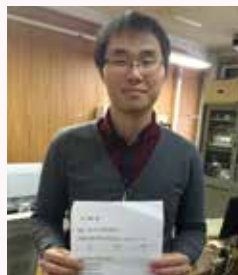
難関資格試験に挑戦、合格者を続々と輩出

—生産工学科—



山本友貴さん
(3月卒業・広島県立呉工業高校出身)

4度目の挑戦で「第二種電気主任技術者」の試験に合格できました。多くの先生方の丁寧なご指導のおかげと、日々コツコツと勉強を続けた結果だと思えます。広島大学大学院に合格し、今後は電力の研究を進め電力システムの発展に貢献したいと考えています。



李在憲さん (4年・韓国出身)

CADの授業ではCADソフトの操作は得意でしたが、専門用語は難点でした。根気よく時間をかけた甲斐があつてついに難点も克服できました。「CAD利用技術者試験1級」の資格を持つていけば就職活動にも有利になるので、皆さんも挑戦してみてください。

やる気、根気、そして即戦力。今では企業が求める人材像はいろいろあります。生産工学科では、この「やる気、根気と即戦力」を養成するために、学生の資格取得を積極的に支援しています。この度、電力業界の難関資格とされる「第二種電気主任技術者」をねばり強く何度も挑戦して合格した学生と、機械設計の難関資格である「CAD利用技術者試験1級（機械）」を、難解な専門用語を克服しCAD操作をこなして合格した学生が続々と現れました。

情報文化学部



展示風景

2月27日～3月1日の3日間、アステールプラザ市民ギャラリーにて卒業研究・卒業制作選抜展を開催しました。

情報デザイン学科の学生は、CG、デザイン、ゲーム、アニメーションなどの視覚表現に関する学習のみならず、基礎的なハードウェア理論、プログラミングに関する学習を進めています。安芸区矢野町のゆるキャラ、ダンス教室のプロモーションビデオ、キャラクターを活用した学校紹介用スマートフォンアプリ、哲学的なアニメーション作品、瀬野川流域活性化のためのウェブサイト、体全体を使って遊ぶリアルRPG、人体検知システムを用いた試着コンテンツ、ゲームの演出に関する研究など、多様な作品が展示されました。

初日の2月27日には、ヤマハ発動機株式会社デザイン本部部長の長屋明浩先生をお招きし、

第8回卒業研究・卒業制作選抜展 情報デザイン学科

「デザインの仕事と私」という題目で招待講演を行いました。講演で長屋先生は、現在手がける様々なデザインプロジェクト、トヨタ自動車株式会社勤務時代に携わった数々のカーデザインやそのブランディングについて講義されました。長屋先生のパワフルな人柄が伝わる講義で、学生や教員のみならず、来場されたお客様も熱心に聞き入っていました。

この選抜展は、4年生、3年生で構成された卒研委員により運営され、9月中旬からチラシ制作、作品選抜集の制作、会場レイアウト、搬入搬出のスケジュールなど、精力的に活動してきました。研究や作品制作だけでなく、展覧会運営も学生の主体性やコミュニケーション能力を養う学びの場であることを申し添えさせていただきます。



長屋先生の講演

学業の集大成、一堂に

PICK UP!

若い男は紅茶好き？ 一現代社会学科 卒業論文発表会を開催— 教授 山本昌弘

大塚さんの紅茶の文化や消費動向などについての研究も面白かった発表のひとつです。中でも、広島市内で行ったアンケート調査によって男子20歳代の紅茶の消費頻度が同性の上の年齢層と比べかなり高いことを示すデータを発表していました。「若い男性は紅茶好きになった」といえるのか、興味深く考えさせられました。



鋭い(?) 質問にタジタジ・・・

中山さんは、日本では10年前に比べ減少したとはいえ、今なお年間犬が約3万頭、猫が約10万頭(いずれも、平成25年度)殺処分される一方で、ドイツでは保護された犬猫の「新しい家族」を見つける努力を行い、殺処分がゼロであると指摘しました。そのうえで、ドイツの殺処分ゼロを支えるシエルターなどの施設や制度、日本各地の殺処分から犬猫を救う取り組みを紹介しました。筆者は、中山さんの動物の命を大切にしたいという真摯な思いに胸を打たれましたが、同時にドイツの殺処分ゼロに示された動物愛護の精神の源流は何だろうという知的興味を覚えました。宗教でしょうか。環境保護運動の高まりのせいでしょうか。それとも・・・



発表は1人15分で行われました

2月14日、現代社会学科の卒業論文発表会を開催しました。今年は各研究室を代表して8人が発表しました。テーマは、コンビニ業界の分析、ユニクロの世界戦略、オンラインゲームの問題、アメリカプロ野球と有色人種、映像コンテンツと地域振興、犬猫の殺処分問題、紅茶の文化や消費動向、障害者の施設の問題など多彩で、いずれも力作でした。筆者が特に印象に残ったのは、犬猫の殺処分問題を取り上げた中山育海さん(広島県立熊野輔さん(松山工業高校出身)の卒論でした。

総合教育センター



事前教育スクーリング

12月20日、12月までに入学の確定した皆さんを対象に、事前教育スクーリングを開催しました。本大学では早期に入学の決まった皆さんが4月により良いスタートを切れるように、事前教育として、学科に応じた基礎科目の通信添削と大学からのメッセージの送付を実施して

事前教育スクーリング

います。スクーリングではこれから始まる事前教育の説明と、各科目の受講方法の説明が行われました。今年は英語の教員からインターネットを使った教材の説明もあり、参加者もその場でスマートフォンを使ってアクセスしてしていました。入学後はe-ラーニングを利用した科目もあり、ひとあし早くいろんなツールを使った授業の体験にもなりました。

新入生の絆深まる 一導入教育プログラム「自己の探求」実施



自己の探求

入学式直前の4月3日から2日間、本大学新入生が全員集合し、導入教育プログラム「自己の探求」を受講しました。第1日目は、所属学科ごとのグループ分け、相互認識を深める一対一の対話、グループ内での合意形成などを行いました。第2日目は、各自の価値観やコミュニケーションに関する意見などを

持ち寄って話し合い、時にゲーム形式も交えて楽しみながら、自己と他者への理解を深めていきました。最後に、相互の印象や今後へのアドバイスを交換するなどしてプログラムをしめくりました。入学後にクラスメイトとなる新入生同士、初めての顔合わせとなりましたが、プログラムを通じて、早くも同級生としての絆を深めることができました。

異文化体験Ⅱ

12月6～14日まで、学生7名を引率し、フィリピン共和国に8泊9日の日程でダイビングツアーに出かけました。この授業は、早い時期に異文化に触れることで、自分のおかれている環境を客観的に見つめなおし、その後の学生生活を、より価値あるものにしてもらいたいという趣旨で毎年行われています。今回は、ネグロス島のドゥマゲッティという町を拠点にしてアボ島、ス

ミロン島といった世界的に有名なダイビングポイントを中心にして11箇所のダイビングを行いました。陸上においては、まだまだ開発途上にある国の人々の生活を目の当たりにし、大いに考えさせられる旅となりました。

PICK UP!

生涯スポーツB（スノーボード実習）

です。れば幸いです。定着することになる。生涯の趣味として、人生の楽しみを増やします。また、スポーツの醍醐味を味わうことができます。さらにはリーダーシップを醸成するきっかけになってくれることを期待しています。また、スポーツの醍醐味を味わうことができます。さらにはリーダーシップを醸成するきっかけになってくれることを期待しています。



日本海の景色とウィンタースポーツを満喫

2月17～20日、鳥取県だいせんホワイトリゾートにてスノーボード実習を行いました。56名の履修学生は、レベル別班に分かれ、4日間の実習に挑みました。スノーボードが初めての学生もベテラン指導者の下、めきめきと上達し、最終日には、山頂からの上級者コースも難なく滑れるまでの技術を習得しました。最終日は好天に恵まれ、日本海の景色を堪能しながら雪山でのスポーツの醍醐味を満喫し、スノーボードの虜になつてくれたものと思います。これらの体験が、今後の学生生活をより豊かなものにし、人間的に強くたくましく、さらにはリーダーシップを醸成するきっかけになってくれることを期待しています。

短期大学部

自動車整備士 登録試験結果



試験後に自己採点する学生

平成26年度第2回自動車整備士登録試験（平成27年3月22日実施）の合格発表が行われました。結果は次表に示すとおり2級ガソリン、2級ジーゼル、1級小型（学科）試験において残念ながら100%合格とはなりませんでした。

2級自動車整備士実技講習会は、昨年の10月から5ヶ

	卒業者数	受験者数	合格者数	合格率	全国合格率(参考)
1級小型(筆記試験)	8名	8名	7名	87.5%	31.6%
2級ガソリン	53名	53名	47名	88.7%	79.5%
2級ジーゼル		24名	23名	95.8%	93.0%

4月5日、大学・短大合同の入学宣誓式のあと、短期大学部の教育方針説明会が行われました。まず保護者の皆様に対して短大後援会の役割の説明と活動協力の依頼が行われました。次に知名短期大学部長から本学の建学の精神、教育目標、入学者受け入れ方針、教育課程編成・実施の方針、学位授与の方針など教育体制に関する説明や楽しい学生生活を送る上での注意点、進級・卒業の要件、整備士資格取得状況や1年生のチューターの紹介などがあり、引き続き就職担当の川口参与から就職活動の厳しさ等について詳しい説明がありました。その後、

月間という長い講習に学生も真剣に取り組み、登録試験合格を目指して土日祝日も返上し、学生教員一体で日夜努力しましたが、あと一步届かない残念な結果となりました。

1級整備士については、年間を通して少しずつ国家試験を題材に教科書をベースに勉強を重ね、解らない問題や、回路の読み方などを、全員で理解できるまで教え合い、全員のレベル向上を図ることができました。緊張した時の対策や時間配分等も指導し、この一丸となった勉強スタイルで将来に繋がる絆ができました。

登録試験後の卒業記念パーティでは、工業科・専攻科学生とも笑いあり、涙ありで楽しく過ごし、短大を巣立って行きました。

教育方針説明会を実施

木村係長から保健室の役割や入学後に行われる健康診断などの説明が行われました。これからの学生生活を有意義に送るための大切な説明であり、皆さん熱心に聞いておられました。これからの新しい生活に向かって元気に張り切ってスタートしましょう。



知名短大部長による説明

たゆまぬ努力で視界鮮やか

PICK UP!

企業研究会で学生の進路の決め手に

—合同企業研究会（学内）の開催—

この企業研究会によって、将来の企業選びに大いに参考になったとの声も聞かれました。企業への見聞も変わります。



合同企業研究会

特に最近では少子化の影響で、各企業とも人材の確保が求められています。仕事の精度は下げることができないため、整備士奨学制度の創設や社員の要望を取り入れた休暇制度にするなど多くの工夫をしています。

学生のテーマが一人ひとり異なりますが、例えば福利厚生、社員教育制度、会社の将来像、転勤の有無、離職率等々があり、企業からは整備士として求める人材としてコミュニケーション能力や永く勤務できる人材がありました。

平成26年度から就職支援授業の総まとめとして1月15・16日の両日、夏からの個別企業研究を行った結果を踏まえ、各自の研究テーマに沿った課題に企業が応える形での合同企業研究会を行いました。両日併せて55社（メーカー2社、ディーラー30社、一般整備14社、一般企業3社、損保3社、公益3法人）の参加を得ました。

喪失経験から知る命の大切さ

12月17日、安芸区民文化センターで復元納棺師、笹原留似子さんによる「生命（いのち）」の講演を行いました。東日本大震災で復元納棺師としてボランティアをされた活動や、ご自身が大切な人を失った経験を通して感じた「いのち」の大切さについて、イラストや映像、身ぶり手ぶりを交えて情熱的に語っていただきました。生徒たちはみな真剣に聴き入っていました。

笹原さんの仕事は、災害などで亡くなった方をなるべく生前の姿に復元して納棺することです。笹原さんのこの活動を取り上げた番組を講演の冒頭で鑑賞しました。亡くなった妻の損傷が激

しく、子どもを会わせられずいた男性が、復元後「やっとこれで子どもたちを妻に会わせてあげられます」と喜び、残された子どもたちが対面できたというお話は、涙なくして聴くことはできませんでした。

笹原さんが復元された方々を優しいタッチで描いたイラストと添えられたメッセージは特に印象に残りました。これらは『おもかげ復元師の震災絵日記』として出版されています。一度手にとって読んでみてください。



講演後、生徒から笹原さんに記念品を贈呈

高齢者に寄り添う介護士の奮闘



角戸さん、中津さん、佐々木さんによる講演

3月17日、1・2学年を対象に「いのちの教育」を実施しました。ビデオ鑑賞と講演で介護の現場に触れるを通じ、他者への向き合い方を学ぶ本高校独自の授業です。

最初にドキュメンタリー番組「泣いて笑って寄り添って リエとナオミ 10年の記録」を鑑賞しました。高齢者介護に携わる二人の女性介護士とその仲間たちの奮闘の記録です。

鑑賞後には出演者である NPO 法人海祐会代表の角戸理恵さん、中津尚美さん、そして制作を

手掛けた山口放送制作部の佐々木聰さんを講師に、生徒との座談会を開きました。

講演後に記した感想文の中で、普通科得納文昭さん（戸坂中学校出身）は「人と人が信頼関係を構築することは、その人、その場でのみ有効なものではなく、さらに別の輪へと広がっていくのだと講演を聞いて考えさせられました。そして、自分以外の人が築いた信頼関係の恩恵を思わぬところで受けることもあり、そういった人との繋がりは、私たちが集団で暮らすには欠かせないものであると思いました」とつぶやきました。介護の現場を目の当たりにし、生徒たちも他者との向き合い方を学んだようでした。

フィリピンから留学生アリーさんがやって来ました 国際交流部長 恵島 佳子

入を行っています。



帰国するアリーさん（中央）を広島空港で見送る

本高校の生徒も、15歳で外国に来て日本語を懸命に勉強している姿に影響を受け、英語をもっと勉強しようと思った、外国に行きたくなったなどと感想を述べています。今後もこのような交流ができるよう留学生受け入を行っています。

アリーさんは総合学科2年3組で生徒達と授業や日本語の指導を受け、放課後は美術部と茶道部に入り活動しました。期間中にマラソン大会があったので、体育ではマラソンの練習をしました。フィリピンではこんなに長い距離を走ったことがないそうですが、本番では最後まで完走し、いい思い出になったようです。ホームシックになった時もありましたが徐々に慣れ、友達もできて最後にはまだフィリピンに帰りたくないと言うほどでした。フィリピンで2年間日本語の勉強はしていたので、3週間の間にアリーさんの日本語はとても上達していました。皆さんのおかげで彼女には忘れられない貴重な体験になりました。

1月24日、ホストファミリーの重川さんや担任の藤本先生、YFU 日本国際交流財団の方々と広島空港で留学生を出迎えました。ナング・アリソン・トレイシーさんは、重川さんが作ってくれたウエルカムボードを見るなり、すぐにこちらに駆け寄って来ました。とてもかわいらしい印象でした。これからアリーさんと私達の3週間の奮闘が始まりました。

おめでとう全国制覇！ 金谷さんが優勝に輝く —全国高等学校ゴルフ選手権春季大会—

3月25～27日に滋賀県の瀬田ゴルフコースにて行われた平成26年度全国高等学校ゴルフ選手権春季大会（文部科学大臣権争奪 第35回個人部）において、普通科の金谷拓実さん（昭和北中学校出身）が見事優勝しました。



優勝楯を手に笑顔を見せる金谷さん

春待つ瀬戸内の町を快走 —マラソン大会—

2月11日、安芸郡坂町の森山ジョギングコースにて、恒例のマラソン大会を実施しました。心配された天気も、快晴とはいかなかったものの、厳しい寒さの中にも暖かさを感じる絶好のマラソン日和となりました。校長の挨拶の後、フィリピンからの短期留学生アリーさんの紹介を兼ねて、彼女からメッセージをいただきました。

昨年は大雪によりマラソン大会自体が中止となったため、1年生はもちろん、2年生にとっても高校生活初めてのマラソン大会となりました。そのためかスタート前は少し緊張した面持ちの生徒も見受けられましたが、号砲が響いた途端に参加した生徒たちは元気よくスタートしていきました。全国大会に出場した陸上競技部は今回出場せず、大会運営の手伝いをしてくれました。そのた

め男子はサッカー部や硬式野球部、ソフトテニス部、ゴルフ部など様々なクラブの生徒の健闘が見られました。一方女子はバスケットボール部やバドミントン部、陸上競技部の健闘が光ったように思います。

1名の保護者の方も参加し、生徒と一緒に気持ちのいい汗を流されました。春が少しずつ近づいている瀬戸内の自然を、肌で感じられたのではないのでしょうか。



気合十分、1年待ちでのスタート

レポート

陸上部が完全優勝 中高生男子の部 —第33回海田町駅伝大会—

年々、参加チーム数も増え、盛況を見せる大会の様子に海田町のパワーを実感しました。闘いの後は、うどんに舌鼓。悔しさが残るうどんの味に、来年こそは、と優勝への決意を固くしました。



優勝した陸上競技部（長距離）3年生チーム

立春とは名ばかりの2月15日、ランナーたちの熱気により、寒さもやわらいだ瀬野川河川敷において、第33回海田町駅伝大会が開催されました。海田町民を中心に、過去最多となる1000人を超える健脚自慢が集いました。

本高校からは、陸上競技部（長距離）3年生チームと広島国際学院教員男子^{だん}チームが参加しました。「中高生男子の部」にエントリーした陸上競技部（長距離）3年生チームは、昨年末、師走の都大路を駆け抜けた実績そのままに、第1区から第6区まで独走の完全優勝を飾りました。「一般男子の部」にエントリーした広島国際学院教員男子^{だん}チームは、今回で5年連続出場です。昨年5位という悔しさをばねにして、平均年齢27歳へと若返ったチームは、第2区から第5区まで先頭で通過するなど大健闘。最後は同タイム（大会新記録）ながら海田警察署Aチームに2連覇を許し惜敗しました。

広島国際学院 レポート

本学院学生・生徒の活躍

〔大学・短大〕平成26年度部活動成績



サークル名	受賞者	出場大会名	成績
アーチェリー	岡崎 芽衣 (2年 安芸南高校出身)	第19回中国四国学生室内アーチェリー個人選手権大会	1位
	西村 千晶 (2年 邇摩高校出身)	第19回中国四国学生室内アーチェリー個人選手権大会	5位
	田向 弘樹 (1年 広島工業高校 (県立) 出身)	第19回中国四国学生室内アーチェリー個人選手権大会	7位
	山光 祥平 (2年 広島県立吉田高校出身)	第44回中国四国学生アーチェリー個人選手権大会	8位
硬式野球	団体	広島六大学2014年度秋季リーグ戦	1位



〔高校〕平成26年度部活動成績

部名	受賞者	出場大会名	成績
ゴルフ	金谷 拓実 (1年 昭和北中学校出身)	平成26年度全国高等学校ゴルフ選手権春季大会 (男子)	1位
	金谷 拓実 (1年 昭和北中学校出身)	平成26年度全国高等学校ゴルフ選手権大会 (男子)	2位
	藪下 真衣 (1年 大柿中学校出身)	平成26年度全国高等学校ゴルフ選手権大会 (女子)	4位
	団体	平成26年度中国高等学校ゴルフ選手権大会 (男子)	1位
	団体	平成26年度中国高等学校ゴルフ選手権大会 (女子)	2位
水泳	鈴木 海友 (2年 安佐中学校出身)	第2回中国高等学校新人水泳競技選手権大会	7位
レスリング	井原 巧 (2年 己斐中学校出身)	平成26年度 JOC 杯全国予選中国・四国ブロック大会	3位
	山口 健太郎 (3年 府中学校出身)	第69回国民体育大会レスリング競技会 (少年男子)	5位
書道	迫 采音 (1年 矢野中学校出身)	文部科学省都道府県市町後援第26回全国書道大会	グランプリ
	丹羽 あかり (2年 楠那中学校出身)	第66回全国学生書道展	A賞
バトントワーリング	豊嶋 彩夏 (2年 戸坂中学校出身)	第39回全日本バトントワーリング選手権大会	1位
ボウリング	石本 美来 (3年 矢野中学校出身)	第38回全日本高校ボウリング選手権大会	1位
陸上	団体	第56回中国高等学校駅伝競走大会	4位
吹奏楽	団体	第55回全日本吹奏楽コンクール中国大会	金賞

卒業式 (大学・短期大学)



3月19日、平成26年度大学・短期大学合同卒業証書・学位記授与式を挙りました。佐々木

健学長の式辞、来賓による祝辞に続き、各賞の授与がありました。

大学硬式野球部のエースとして活躍し、プロ野球千葉ロッテマリーンズに入団した宮崎敦次さん(下関国際高校出身)に「学長賞」が授与されました(写真)。広島六大学野球2014年秋季リーグ優勝に貢献した宮崎さんには、公益財団法人日本学生野球協会から功績を称える表彰盾も贈られ、会場に展示されました。

この日はあいにくの雨模様でしたが、卒業生たちは学業を全うした充足感と喜びに包まれ、晴れやかに学び舎を巣立っていきました。

なお式の前後に、カメラを搭載した無人小型機「ドローン」を初めて飛行させました。入退場の様子を撮影し、動画に加工して公開する予定です。

入学式 (大学・短期大学)



朝まで降り続いた雨も上がり、みずみずしい若葉が芽

吹いた4月5日、平成27年度大学・短期大学合同入学宣誓式を執り行いました。李木経孝学長代行の入学許可宣言に続いて新入生代表が登壇し、力強く宣誓しました。李木学長代行は式辞で「皆さんは大きな夢と希望を持って入学されました。学業、課外活動を問わず主体的に活動し、人間として奥深さと魅力を兼ね備えた社会人に成長してください」と新入生を激励しました。吹奏楽部の演奏も厳粛な式典に華を添えました。

式の後、恒例の入学祝賀茶会が催されました。さわやかな風に桜が舞い、鶯のさえずりも聞こえる中、新入生や保護者たちが次々に訪れ、くつろいだ表情でお茶とお菓子を楽しんでいました。

卒業式 (高校)



3月1日、改装された体育館にて、第66回卒業証書授与式が行われました。

当日は、恩師・級友らとの別れを惜しむ冷たい涙雨でしたが、日曜日ということもあり、多くの列席をいただきました。吹奏楽部による演奏の中、卒業生416名は入場し、式は厳粛に執り行われました。卒業生代表、阿部里奈さん(府中中学校出身)は答辞で、「3年経った今、振り返ってみると不安だったことが嘘のように、輝かしい思い出ばかりが心に残っています。本当に幸せな日々であったと今さらながらに思います」と述べました。

この卒業式を節目とし、一人ひとりが広島国際学院高校での3年を糧に、新たな道を歩んでいきます。

入学式 (高校)



心配されていた天候もなんとか持ちこたえた4月8日、第69回入学式を挙りました。

今年度は533名の新入生を迎え、桜の花同様、期待と希望に胸をふくらませた新入生が、校門で保護者と記念写真を撮る姿は、とても初々しく感じられました。

式典は厳粛な雰囲気のもと執り行われ、森崎恒夫校長は、『自主的に行動すること』『規律を守ること』『グローバルな視点に立つこと』で、知識だけではない、『知恵・生きる力』を身につけてほしい」と新入生を激励しました。

新入生は広島国際学院高等学校の一員として、3年間の高校生活を実りあるものにする決意を固めているようでした。

平成 26 年度 進路状況

平成 26 年度 広島国際学院大学進路状況

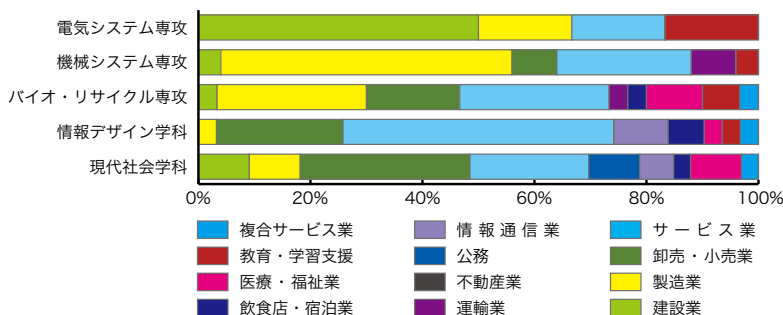
平成 27 年 3 月 31 日現在

- ・ 様々なビジネスシーンにおいて必要な企業が求める「社会人基礎力」に加え、グローバルに考えてローカルに貢献できる”グローバル”な能力を備えた人材の育成に努めています。
- ・ 従来から素直で積極性がありフットワークの軽い学生を育てており、実社会での活躍が評価され近年学生 1 人当たり約 30 倍の求人倍率を得て、高い就職率を達成しています。
- ・ 履歴書・面接・小論文などの選考試験に対する指導など、学生一人ひとりの適性・能力に合わせた就職活動を就職課と教員がきめ細かくサポートします。

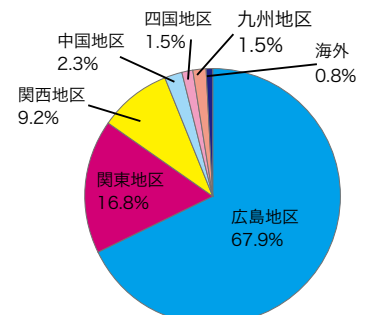
主な就職先

	工学部	情報デザイン学部	現代社会学部
広島地区	朝日工業(株) 荻野工業(株) (株)キーレックス 大亜工業(株) 田中電機工業(株) (株)中電工 テルタ工業(株) (株)東洋シート 南条装備工業(株) (株)にしき堂 日鋼設計(株) 日新製鋼(株)呉製鉄所 (株)日本製鋼所広島製作所 (株)三井開発 (株)ロジコム	アルファ・クリーンサービス(有) アンデックスソリューション(株) (株)一富士興業 (株)エスマイル (株)エネルギー・コミュニケーションズ エンタープライズ(株) (株)第一技研 (株)ダイキエンジニアリング 大興グループ (株)大創産業 (株)ハーティウォンツ 広郵便局 メガネの田中チェーン(株) (株)レンティック中部広島営業所	(株)大野石油店 荻野工業(株) (医)好縁会 (株)シー・エス・シー中国 ドリームベッド(株) (株)ニチエー 伯和グループ (医)ピーアイエー (医)ひがしの会 広川(株) 広島海苔(株) 広島三菱自動車販売(株) プリチストンタイヤジャパン(株) プリチストンリテールジャパン(株) ベンダ工業(株)
関東・北陸	(株)アビスト (株)協和エクシオ (株)サンテック サントリービバレッジサービス(株) (株)ダイナム (株)千葉ロッテマリーンズ チムニー(株)	(株)アルプス技研 (株)エイジェック 湖山医療福祉グループ (株)トラスト・テック (株)ノードコミュニケーション (株)夢テクノロジー	(株)鍵 サントリービバレッジサービス(株) (株)すかいらく (株)ダイナム ナイガイ(株)
関西・東海	(株)アスパーク (株)サカイ引越センター (株)G-7ホールディングス 東洋シャッター(株)	(株)アスパーク (株)イーエスプランニング (株)ホテルグランヴィア大阪	(株)コスモネット ゼロロクブルズ ナリコマグループ

業種別就職状況



地区別就職先



平成 26 年度 広島国際学院大学自動車短期大学部進路状況

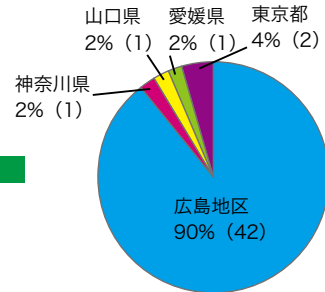
平成 27 年 3 月 31 日現在

進路状況

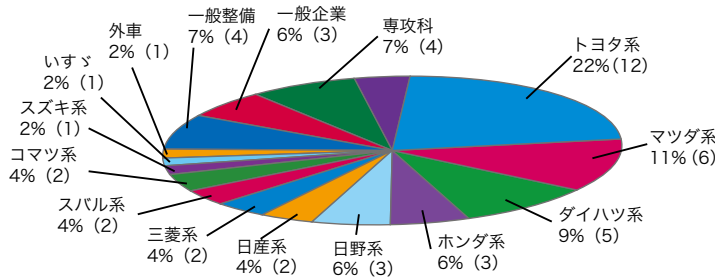
就職率 (100%)

卒業生数	53 名
就職決定者数 / 希望者数	47 名 / 47 名
進学決定者数 / 希望者数	6 名 / 6 名

地域 (県) 別就職状況



進路状況グラフ



平成 26 年度 広島国際学院高等学校進路状況

平成 27 年 3 月 31 日現在

進学・就職内定者数

学科	性別	在籍	進 学				就 職					
			大学	短大	専門	未定	県内	県外	公務員	自営	自己	未定
総合学科	男	71	46	3	14	0	4	0	4	0	0	0
	女	103	31	18	37	6	4	0	0	0	7	0
普通科	男	107	88	2	3	10	2	0	1	1	0	0
	女	135	86	18	27	3	0	0	0	0	1	0
合 計		416	251	41	81	19	10	0	5	1	8	0
比率			94.2%				5.8%					

大学・短期大学・大学校 (推薦・AO・一般入試) 合格先

	大 学	短期大学
中四国	広島大、島根大、高知大、愛媛大、香川大、県立広島大、広島市立大、尾道市立大、下関市立大、岡山県立大、島根県立大、IPIG バト音楽大、近畿大、比治山大、広島経済大、広島工業大、広島国際学院大、広島国際大、広島修道大、広島都市学園大、広島文化学園大、広島文教女子大、広島女学院大、安田女子大、福山平成大、東亜大、環太平洋大、岡山商科大、吉備国際大、倉敷芸術科学大、山口東京理科大、松山大、徳島文理大	比治山大短大部、安田女子短大、広島国際学院大自動車短大部、広島文化学園短大、山陽女子短大、鈴峯女子短大、岩国短大
その他	大分大、山梨大、滋賀大、大阪教育大、北九州市立大、公立ほこだて未来大、津田塾大、日本大、明星大、専修大、大東文化大、駿河台大、国士館大、亜細亜大、関東学院大、帝京大、東海大、明海大、皇學館大、四日市大、同志社大、鈴鹿医療科学大、関西大、京都産業大、龍谷大、関西外国語大、大谷大、佛教大、立命館大、摂南大、阪南大、大阪観光大、大阪工業大、大阪人間科学大、城西国際大、大阪樟蔭女子大、神戸学院大、神戸芸術工科大、神戸医療福祉大、九州共立大、九州産業大、福岡大、西南学院大	大谷大学短大部、西日本短大

専門学校

就職

	専門学校	主な就職先
中四国	呉医療センター附属看護、小井出ファッションビューティ専門、穴吹デザイン専門、広島アパレル専門、広島福祉専門、広島製菓専門、IGL 医療福祉専門、広島医療秘書こども専門、朝日医療専門、広島会計学院電子専門、広島県厚生連尾道看護専門、広島高等歯科衛生士専門、広島工業大学専門、トニカイカレッジ 広島医療福祉専門、広島外語専門、広島公務員専門 広島県立技術短期大学校、広島県理美容美容専門、専門学校マイドビューティ・カレッジ、広島ビューティ専門、広島情報ビジネス専門、広島デザインカレッジ専門、広島 YMCA 専門、広島ビジネス専門、広島市医師会看護専門、広島リゾート＆スパ専門、広島美容専門、広島酔心調理製菓専門、大栄教育システム、岩国 YMCA 国際医療福祉専門、岡山労災看護専門、岡山・建部医療福祉専門、リハビリテーションカレッジ 島根	(株) ウイルテック、(株) 呉英製作所、(株) サンポール、(株) サカイ引越センター、新明和工業 (株)、ゼビオ (株)、田中電機工業 (株)、(株) 伯和、(株) ベッセル、(株) ワールド ストアパートナーズ、兵庫県警、自衛隊
その他	ECC 国際外語専門、東放学園専門、東京スクールオブミュージック＆ダンス専門、日本工学院専門、大阪医療秘書福祉専門、大阪情報ビューティ専門、大阪あべの辻製菓専門、大阪医療技術学園専門、辻製菓専門、神戸医療福祉専門、グレース美容専門、福岡医療専門	

1月22日、上瀬野キャンパスにて「ダイハツ ムーブのベンチマーキング活動」を行いました。

ベンチマーキングとは、新車が発売された際にライバルメーカーや部品メーカーがその車を分解して構造・装備・部品など分析研究を行い、自社の製品開発に役立てることをいいます。この活動は、地域の関係者が連携・共同し、研究開発の推進を図り、自動車関連産業の発展に資することを目的に公益財団法人ひろしま産業振興機構の主催で行われています。設備等が充実している本短大に車両の分解作業について依頼があり、今年から活動に参加させていただきました。

作業を実施するのは本短大で4年間勉強をしてきた専攻科2年生の学生8名で、計画を立てていきました。本短大で習得した技術の集大成を披露する場になればという考えです。

具体的な作業としては、新型ムーブのフレーム以外をすべて取り外し、その部品の取り付け位置や取り付けねじを来場者に分かるように展示していくという内容です。来場した部品サプライヤーの方々は、その部品を手に取り、興味深い部品は持ち帰って研究していくことで新規市場の開拓を



多くの視線を浴びながらの作業

狙っていきます。当然、作業中に部品を破損したり、取り付け位置やねじが分からなくなったりすると、活動の目的自体が

果たせなくなるため、そのようなことが決して起こらないような対策が必要です。それは学生が就職する先でも共通の内容で、習得しておかなければならない「スキル」のひとつになります。



車両から取外したエンジンを撮影する来場者

初めて参加する活動のため、車両の分解作業の手順や、作業の分担など具体的にどのようにすると効率が良いのか「ノウハウ」を検討するため、事前に学生と1ヶ月ほど時間をかけ、別の車両を用いて何回も実践を繰り返し作業の改善を行いました。

この事前の作業により、いろいろな問題点を発見(1~2日時間が経過すると床に油脂がこぼれるなど)し、大きな外板部品を展示するツールの必要性(学生に設計・制作してもらいました)などを確認することができました。

また、分解される車両はピカピカの新車で、なおかつ作業している学生の周囲には何人もの見学者が集まり、多くの視線を浴びながらの作業は、かなりの緊張感を伴うものだったと思います。

作業した学生には、普段の授業では味わうことのない貴重な体験ができ、就職先で定期的開催されているであろう技術大会などの良い動機づけになったのではないかと期待しています。

また、作業ペースも予定よりも数段早く進行し、最後のほうには手持ち無沙汰になるくらいで、学生の4年間の成長を大きく感じることができました。

最終的には、56の団体・企業と延べ200名強の来場者が参加した盛大なものになりました。また、来場者の方々との情報交換もさせてもらい、とても興味深かったです。大変ありがとうございました。

ひろしま産業振興機構の皆さま、また来年度もよろしくお願いいたします。

地域の自動車産業発展の一助に

今後の主な行事予定
(赤字は公開行事です)

大学・短大

学長杯スポーツ大会 (5/9) 球技大会 (6/7) 学外展 (大 6/14)
オープンキャンパス (大 6/28 8/2 8/22 短 6/21 7/19 8/23 9/20)
前期末試験 (大 7/30~8/5 短 7/30~8/3) 夏季休業 (大 8/6~9/16 短 8/5~9/9)
高城祭 (10/17~18)

高校

遠足 (5/1) 新入生集団合宿 (5/14~18) 中間考査 (1年 5/26~29 2・3年 5/14~18)
体育祭 (6/9) 期末考査 (7/6~10) クラスマッチ (7/16~17) 終業式 (7/18)
夏季アメリカ語学研修 (7/30~8/12) 始業式 (9/1)

この広報誌及び第三者認証評価結果はホームページでご覧になれます。 <http://www.hkg.ac.jp>

高校生以上の方に図書館を開放しています。 詳細は図書館までお問い合わせください。 TEL:082-820-2536

学校法人 広島国際学院 法人本部 総務課

レイアウトデザイン:情報デザイン学科4年 金山翔・松本佳奈・小林直樹・大丈佑己・トウシ敬介・花本修平/大学院1年 末房守

住所: 〒739-0321 広島市安芸区中野六丁目20-1 電話: (082) 820-2345